

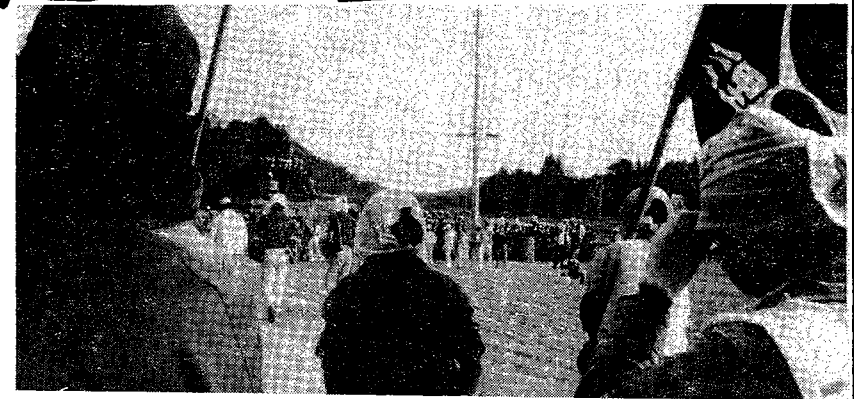
「10・10」まで10日！全力で奮闘しよう

日刊 勤労千葉

84. 10. 1
No. 1755

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七



機動隊の暴力のみで「用水」「二期」を強行し、数年間にわたって「空港や関連施設を守る」ことなど絶対にできるわけがない。全人民の怒りは必ず爆発し、敵をうちくたく。 (9月25～27日、闘う反対同盟と支援)

必ず5割動員を実現する

津田沼支部
支部通信員・発

津田沼支部は9月17日、拡大執行委員会を開催し、10・10へむけ役員、活動家全員が年休、変番で参加することを決定し、直ちに具体的取り組みを開始した。

- ① 9月18日以降、支部、青年部とも全組合員対象の個別オルグに入るとともに、9月20日、青年部は職場集会を行い、7割決起を確認した。オルグのポイントは、
- ② 二期着工阻止は三里塚19年の成否をかけて、中曽根と対決する決戦であること。
- ③ 分割・民営化をはじめとする国鉄決戦であること。

勤労千葉の団結力を見せつけてやる

千葉運転区支部
支部通信員・発

千葉運転区支部は9月19日、支部執行委員会を開催し、10・10三里塚への総決起へむけて、残りわずかになった今、全力で取り組んでいる。

3・25に支部組合員76名が決起して闘いぬぎ、その団結力によって様々な攻撃を打ち破り勝利してきた。しかし「三本柱」と「60・3」攻撃をみるならば、まさに国鉄決戦は労働組合として正念場を迎えている。同時に、19年間不屈に闘いぬいてきた三里塚闘争は、二期工事着工が切迫する中で情勢は風雲急をうっている。

中曽根、権力機動隊、国鉄当局よ、わが闘う人民の底力、目にも見せてやるぞ！

9月25日、政府・空港公団は、六千名の機動隊を導入し、成田用水工事の着工を強行した。農民の反対の声をあらん限りの暴力でおしつぶし、不当にも32名の農民、労働者、学生を逮捕し二期着工にうってでてきた。われわれは、中曽根、権力・機動隊の蛮行を断じて許さず、にえたぎる怒りを叩きつけるものである。10・10への空前の結集を実現し、目にもみせてやるうではないか。勤労千葉は「3・25を上まわる動員をかちとろう」を合言葉に、10・10まであと10日！全力で決起しよう。

敵の狙いは「国鉄労働運動」と「三里塚闘争」の解体にあることは明白だ。この攻撃をぶち破るには、われわれ勤労千葉を先頭に10・10へ総決起することにある。権力・国鉄当局に勤労千葉の団結をみせつけてやることだ。役員を先頭に、年休をはじめあらゆる手段で3・25を上まわる動員をかちとるべく、青年部はすでに個別オルグに入り奮闘している。組合掲示板はもちろん、職場全体を「10・10三里塚」一色で埋めつくすようなオルグを展開していく。